



町の教育の在り方検討はどうなっているか

今回は、現在の学校の状況をお知らせしました。児童生徒数はここ30年間で大きく減少しています。東伊豆町教育委員会では、平成27年度から、これからの学校教育環境の在り方について検討を進めています。以下に、これまでの検討経過概要をお知らせします。

なお、下記の会議の詳しい資料は、東伊豆町ホームページの「暮らし」→「教育・文化」→「学校教育」でご覧になることができます。

委員会・研究会名 構成委員	開催年	答申・まとめ等
学校教育 環境整備委員会 <small>保護者代表、区長代表、 育成会代表、校長代表、 学識経験者</small>	平成27年～ 平成28年	① 大川幼稚園・大川小学校については、一定の人数が確保された環境で教育を進める目的から、熱川幼稚園・熱川小学校との統合が望ましい。(①はH27中間答申) ② 学校教育は、一定の人数が確保された環境で、子ども達の関わり合いを重視した教育が進められることが大切である。また、未来を見据え、より地域と一体となった東伊豆町の教育を目指し、再編整備を進めるべきである。 ③ 中学校を統合し、幼稚園・小学校はできる限り現状を維持する。または、熱川・稲取両地区に、それぞれ小中一貫校を整備する。(②、③はH28最終答申)
総合教育会議 <small>町長、教育委員</small>	平成28年 9月21日	① 大川幼稚園と熱川幼稚園及び大川小学校と熱川小学校の統合は必要である。 ② 統合の時期は、平成30年4月1日とする。 ③ 統合する場合の園・学校の位置を熱川幼稚園・熱川小学校の位置とする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p>平成30年4月に大川幼稚園と熱川幼稚園、大川小学校と熱川小学校がそれぞれ統合し、新しい熱川幼稚園、熱川小学校としてスタートしています。</p> </div>
総合教育会議 <small>町長、教育委員</small>	平成30年 3月29日	① 当町全体の学校教育環境整備について、その検討する方向を「小中一貫教育の整備」に絞り行うものとする。 ② 今後、小中一貫教育について、更に研究を行ったうえで、保護者及び地域に対して丁寧な説明を行い、十分な理解と合意形成が得られるように努め、早期実現を目指すものとする。
小中一貫教育 研究会 <small>保護者代表、区長代表、 小中学校長、学識経験者</small>	平成30年～ 令和元年	① 東伊豆町のこれからの教育の方向は、小中一貫教育を推進することが望ましい。 ② 東伊豆町における小中一貫教育の在り方は、熱川・稲取両地区に施設一体型の小中一貫校を設置することが望ましい。また、現在の小・中学校の校舎・施設を活用することを基本とし、学校の形態としては、義務教育学校としたい。併せて、学校運営協議会制度の仕組みを導入してコミュニティスクールとすることが望ましい。 ③ 小中一貫教育を進めるに当たっては、「小中一貫教育準備会(仮称)」を設置し、小中一貫教育の詳細について準備・検討を重ね、課題を一つずつ解決していく必要がある。また、保護者・地域への丁寧な説明と意見聴取を行うことと、教職員への説明・研修を行うことが必要である。

ご質問・ご意見は、東伊豆町ホームページの【お問い合わせ】か
 東伊豆町教育委員会【電話】0557-95-6207 【〒】413-0411 東伊豆町稲取3354
 【メール】kyouiku@town.higashiizu.lg.jp お願いします。

